

工程管理は正しい標準時間が前提、無い工場は「無管理」

## 「作業標準/標準時間設定講座」の募集

この講座で習得できることは

3日間16時間の実習&講義と1年間の大先輩の助言で

(注)

# 生産性を3割向上

させる 作業標準/標準時間設定技術 です



我見による仕事  
低い生産性

作業標準の習得

動作経済の原則による生産性3割向上



(注)大先輩SEとは、今回の講師で1年間、ご質問に助言します

講座カリキュラム 日時：2026年3/9（月）3/16（月）3/25（水）3日間

1回目	DX推進のための管理技術及び デジタル技術習得  (工程管理のDX)  ※時間：13:00～17:00	①工程管理の目的・課題 ②管理方式とデジタル技術の説明 (作業指導、作業指示、作業標準・標準時間設定の各方式) ③工程管理のDX成功例と業務フローとデジタル技術 (製造計画→作業指図→実績→作業指導とデジタル技術) ※受講企業ごとの工程管理のDXの推進と、それを支える管理技術の適応方法を習得する 作業標準／標準時間が無い職場に工程管理は存在しない事の認識が重要！！
2回目	業務毎の管理技術 実習1（模型） (作業標準／標準時間の設定の実習)  ※時間：10:00～12:00 13:00～17:00	①IEの基礎知識を学習し「レゴブロック」を組立ることによって、「作業標準」の効果を実感する ②標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学ぶ ③自社の対象工程を選択し、「熟達者の作業の録画」を学び自社で録画する ※IEの知識が、生産性を20～50%高める事を体感する事、作業標準の設定方法と標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学習する（作業分析ソフトの利用の仕方を演習する）
3回目	業務毎の管理技術 実習2（自社工程） (作業標準／標準時間の設定の実習)  ※時間：10:00～12:00 13:00～17:00	①受講企業毎の「録画された作業手順」を「作業分析ソフト」で動画分析する ②問題点の抽出と改善の演習 ③作業標準／標準時間の設定及び動画マニュアルの作成方法の演習 ※自社の対象工程を教材として、作業標準／標準時間の設定方法を学ぶ

受講対象者 ・経営者・役員及び後継者 ・実務経験3年以上

受講形態：ZOOM同時双方向型講座（定員10名）

受講料：200,000円(税別)/人（申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照）

中小企業は受講料の51%の助成金（実質受講料 108,200円）

大企業は受講料の33%の助成金（実質受講料 147,600円）

申込締切日：2026年2月9日（月曜日）（助成金締切日）



# お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-hyojun-jyuku>

または、メール「[asguide@kan-lab.com](mailto:asguide@kan-lab.com)」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。  
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。  
申込締切日 2026年2月9日(月)

## 参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな	
ご住所(必須)		
TEL(必須)	FAX	
部署・役職名		
ご芳名(必須)	ふりがな	
E-Mail(必須)		
部署・役職名		
ご芳名(必須)	ふりがな	
E-Mail(必須)		

### 【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

## 【本講座の特徴】オンライン同時双方向型セミナー

現行の標準時間は  
間違った時間です



では、標準時間は  
どのように決める  
のですか？

### 受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO！
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

### ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

### 聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

### 「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

### 大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

### 毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い合わせ、講師は  
解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

参考HP:[厚労省助成金「人材育成支援コース」「事業展開等リスクリング支援コース」](#) 不明点はお気軽にお問い合わせください

①「人材育成支援コース」:社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修

②「事業展開等リスクリング支援コース」:新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成  
業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、①項を申請した場合の受講料です。②項の場合は実質受講料が下がります。

